

野々市市及びホームサーブによる地域活性化に関する連携協定締結

石川県野々市市(以下「野々市市」)及びホームサーブ株式会社(以下「ホームサーブ」)は、野々市市・ホームサーブの相互連携・協働を推進し、野々市市の一層の活性化及び市民サービスの向上に資することを目的とする「地域活性化に関する連携協定」を締結しました。

1 背景・経緯

野々市市は、石川県のほぼ中心地に位置し、海・山のない全くの平坦地ですが、古代より交通の要衝として栄えてきて、自然や豊かな文化に恵まれ、活気ある町へと発展してきました。

一方で、社会課題としての少子高齢化の進行、人口減社会の到来に向けて、現在のところは大学や子育て世代の増加により少子高齢化の進み方は比較的緩やかですが、長い目で見ると全国と同じように少子高齢化が進むと見込まれます。また、産業構造としてサービス業比率が85%と高いということもあり、その他産業での起業や後継者問題といった課題も抱えており、『安心・安全なまち』、『産業振興・働きたくなるまち』、『環境をかんがえるまち』を目指すとしての基本目標をかかげ、情報通信技術の進展や、この度の新型コロナウイルス感染症の影響のような社会の変化にも柔軟に対応できるよう、デジタルトランスフォーメーションやSDGsの推進を図りながら、野々市市第二次総合計画で定める将来都市像の実現に向けて、まちづくりに取り組んでいきます。

また、ホームサーブは、2019年2月に設立された三菱商事とイギリスに本社を置くHomeServe社の合併会社です。定額制の住宅設備修理サービスを生業としており、日本国内で約5万世帯にサービスを提供しています。同社のミッションとして「安心な暮らしを支えるサブスクサービスを日本全国で当たり前にする」を掲げ、地域共生の理念に持ち、地域が活性化するサステイナブルな仕組みづくりに取り組んでいます。

これまで二者での協働のもと、地域課題を解決するためのアクションプランについて議論を重ね、以下の事項について連携・協力していくことに合意しました。

2 連携事項

- (1) 市民に向けた生活インフラサービスの向上に関する事
- (2) 生活インフラ関連事業者との協業及び技術向上に関する事
- (3) 結ネットの利用促進等デジタルトランスフォーメーション(DX)に関する事
- (4) その他地域の活性化及び市民サービス向上に関する事



[野々市市の概要]

(1)庁舎所在地:石川県野々市市三納一丁目1番地

(2)世帯数:25,134世帯(令和4年6月末現在)

(3)人口:54,059人(令和4年6月末現在)

(4)面積:13.56km²

(5)市長:栗 貴 章

(6)特徴:石川県のほぼ中央に位置し、面積は県内で最もコンパクトな都市。土地区画整理事業により商業施設や宅地の整備など、新たな街並み形成が進み、人口の増加が続いている。本州の日本海側の市町村の中で最も老年人口割合が低く、活気がある“若いまち”といわれている。東洋経済新報社による「全国住みよさランキング」では、2020年から2年連続全国1位となるなど、近年は上位をキープしている。

[ホームサーブの概要]

(1)本社所在地:東京都中央区日本橋室町一丁目2番6号

(2)設立年月日:2019年

(3)資本金:31億円(資本準備金含む)

(4)事業内容:生活インフラに関する修繕サービス及び付帯関連事業

(5)代表者:代表取締役社長 得永 泰裕

<お問い合わせ先>

	窓口	連絡先
野々市市	企画財政課	076-227-6028
ホームサーブ株式会社	事業開発部	03-6381-1979